

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	求人・求職対策事業	コード	32107
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 経済部	課等 工業振興課	作成者 小口喜照
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	勤労者対策の推進	施策	雇用対策の充実
		予算科目	求人、求職対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	新規学卒者や離転職者等の求職者や企業の人材確保のために、マッチングの機会を提供するなどの支援を行い、就職促進と人材確保を促進する。			
目的	対象者	高校、大学、一般求職者等		
	意図	求人求職のマッチング支援、高校生のキャリア教育バックアップ		

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>離転職者対象合同企業説明会（計2回） 参加企業120社 参加者300名 場所 諏訪文化センター</p> <p>高校生人材育成講演会 岡谷東高2年生 岡谷東高2年生保護者 岡谷南高1年生</p> <p>諏訪圏工業メッセ見学 岡谷工業2年生</p> <p>福祉の仕事地区面接会 参加企業13社 参加者34名 場所 テクノプラザおかや</p> <p>諏訪地域合同企業説明会（計3回） 参加企業のべ150社うち市内企業45社 参加者のべ357名</p> <p>年末企業説明会 参加企業51社うち市内企業18社 参加者159名</p> <p>雇用開拓推進事業 企業訪問、学校訪問を実施</p> <p>わかもの総合相談会 相談者10人</p> <p>インターンシップ促進補助金の実施</p>				
前年度の課題への対応	合同企業説明会の工夫点として募集企業名だけでなく求人職種を早めに公開することで参加者のマッチング率を高めた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	諏訪地域、年末企業説明会の参加企業（市内企業）			単位	社
	実績値	57	52	63	
	*指標の説明	参加した企業の数			
② 成果指標（指標名）	諏訪地域、年末企業説明会の参加者			単位	人
	目標値	1,027	700	700	700
	実績値	706	649	516	
	達成度	68.7%	92.7%	73.7%	
	*指標の説明	参加者数			
	*目標値の設定方法の説明	実績値			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,975,400	2,068,400	2,080,400	2,264,400
経常経費	1,975,400	2,068,400	2,080,400	2,264,400
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	2,240,000	2,560,000	2,560,000	2,560,000
正規職員の人数(人)	0.28	0.32	0.32	0.32
③ 合計コスト(①+②)	4,215,400	4,628,400	4,640,400	4,824,400
前年度比		109.8%	100.3%	104.0%
財源内訳				
一般財源	4,215,400	4,628,400	4,640,400	4,824,400
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	73,954	89,008	73,657	
前年度比		120.4%	82.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
諏訪地域労務対策協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	1,250,000	1,340,000	1,340,000	1,340,000
障害者就労体験補助金	件数		0	1	3
	金額		0	30,000	90,000
岡谷下諏訪就職説明会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	290,400	290,400	290,400	290,400
インターシップ促進補助金	件数	33	30	30	40
	金額	315,000	318,000	300,000	424,000
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,855,400	1,948,400	1,960,400	2,144,400
	割合	93.93%	94.20%	94.23%	94.70%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 79.5%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 73.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 経団連の就職協定により、3年生の12月に採用活動を実施できなくなった。これにより年末企業説明会は日程を変えるか内容を変えるかの検討が必要となる。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 実行委員会にて協議する。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---